

新型コロナワクチンの定期接種に関する市長メッセージ

厚生労働省は「新型コロナによって重症化する割合は、65歳以上が高く、重症化しやすいこの年代の方及びこの年代に近く一定の基礎疾患を有する方を対象に10月から定期接種を実施しています。」そして、「定期接種はお住いの（住民票のある）市町村で実施されています。」このように国民に情報提供しています。また、ワクチンの効果や安全性についても厚生労働省のホームページに掲載しています。更に重大な副反応についても具体的症状について掲載しています。

以前にも私から「市長メッセージ」として、コロナワクチンによる副反応について市民の皆様へ情報提供いたしました。

東松山市のホームページでは、コロナワクチンによる副反応で健康被害として認定を受けた人数（死亡者を含む）を厚生労働省のデータから掲載しています。

国全体で、令和6年9月26日時点において申請受理件数は12,004件、そのうち認定件数は8,180件、死亡件数は843件となっています。

コロナワクチン接種後の副反応で既に843人が亡くなっています。

今後、市民の皆様はこうした事実があることを十分お考えいただき慎重にコロナワクチンの定期接種に臨んでいただきますようお願いいたします。

令和6年10月1日

東松山市長 森田光一